

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

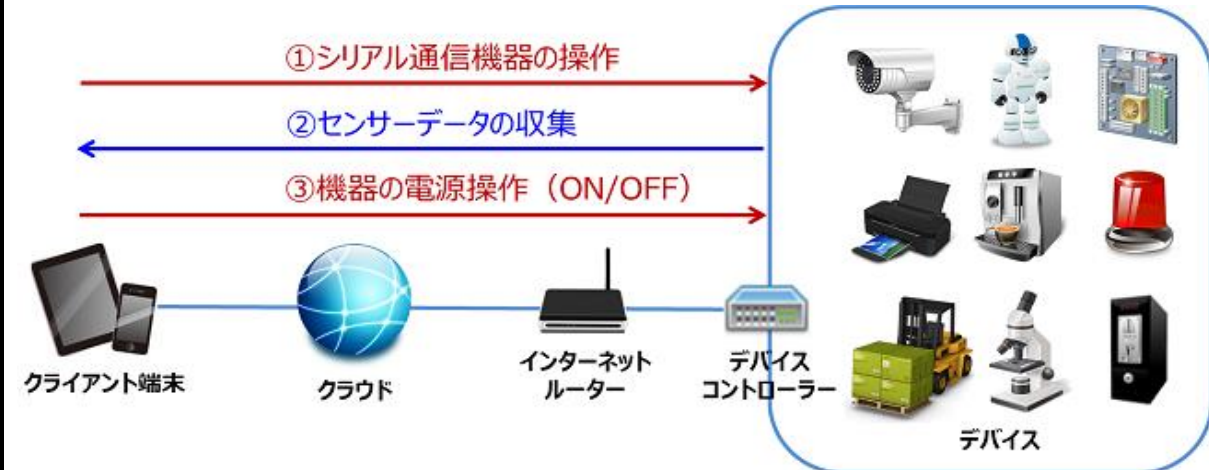
ユースケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>			
	ツール名	自社製品・自社保有設備のIoT化を実現するクラウドサービス『M2MSTREAM』		
候補者	(フリガナ) タケダ カイチ 武田 開智	他 名	企業名/学校名 団体名/個人名	(フリガナ)シナノリンクカブシキガイシャ シナノリンク株式会社
	企業区分	所在地	開発形態	開発費用
	<input type="checkbox"/> 大企業 <input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 ()	東京都	<input type="checkbox"/> 既存のモノを利用 <input checked="" type="checkbox"/> 新規開発	<input type="checkbox"/> 分からない <input checked="" type="checkbox"/> 4,000万円

ツールのPRポイント

<p>◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内</p> <p>センサーや機器といった「モノ」がインターネットを介してクラウドに接続され、「モノ」を通じて収集されたデータを解析した結果をリアルな世界にフィードバックするための仕組みであり、遠隔地に設置された①シリアル通信機器の操作、②センサーデータの収集、③機器の電源操作を可能にするクラウドサービスです。製品(モノ)を販売して利益を得るビジネスから脱却し、データを利活用して製品の付加価値をサービスとして提供するビジネスモデル(Product as a Service)を実現するのに必要不可欠な機能を提供します。</p>
<p>◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)</p> <p>自社製品・自社保有設備をIoT化したいが、センサーからネットワーク、データ処理まで全体を最適化したソリューションを自社開発するには多大な時間と費用を要するところ、IoT化に必要な基本機能を標準実装した本サービス(初期費用・月額利用料)を活用することで、中堅・中小企業でもIoT技術を自社ビジネスに取り込むことが可能となります。本格導入する前に、事業化調査を目的として試験的にIoTビジネスに取り組むことができ、新規事業立ち上げの際のリスクを最小限に抑えることができます。</p> <p>他サービスとの差別化ポイントは、オリジナルプロトコルにより、双方向通信を実現し、クライアント端末側からクラウド経由で遠隔地にある機器をリアルタイムに操作することができる点です。最大の特長は、ユーザーは遠隔操作したい機器に当社製「デバイスコントローラー」を接続するだけで足り、プロバイダ等が提供している「固定IPアドレス」「ダイナミックDNS」といった付帯サービスは不要で、独自のDNSサーバーを指定する必要がないところです。</p>
<p>◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)</p> <p>IoTの本質は、小さな変化を見つけ、その変化(データ)から意味をくみ取り、迅速な対応をする、という点にあり、本サービスは下記ケースに活用できます。</p> <p>①自社製品をIoT化し稼働データを解析することで顧客ユーザーに対して高付加価値サービスを提供する。</p> <p>②自社保有の生産設備をIoT化し生産性の改善や品質の向上等を図る。</p> <p>①においては、製品の異常兆候を早期に発見し原因を推定した上で、消耗品の交換時期の通知、稼働状況レポートの提供、連続安全稼働を実現する方法のアドバイス等、データを利活用した高付加価値サービスを提供すること(Product as a Service)が可能となります。</p> <p>②においては、生産現場におけるデータを収集・分析することによりムダ、ムリ、ムラを排除し、予防保全、生産性向上、品質向上、電力使用量の制御による省エネ・コスト削減が期待できます。</p>
<p>◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内</p> <p>①本サービスは、センサーや機器やカメラなどのデバイスに接続する「デバイスコントローラー」、データの配送を制御する「クラウドサーバー」、システム別のアプリケーションを構築する「APサーバー」で構成されます。②パソコンやスマホなどのクライアント端末から送られるリクエストデータは、APサーバー、クラウドサーバー、デバイスコントローラーを経由してデバイスに送られ、対応するレスポンスデータをシームレスにクライアント端末に返します。通信データは、独自プロトコルによって暗号化され、安全に送信されます。③デバイスコントローラーは、デバイスと接続して、デバイスとクラウドサーバーをシームレスに接続する通信機器で、RS232Cポート(シリアル通信用)とUSBポート(カメラ用/電源操作用)を装備しており、インターネットルーター(有線/3G/LTE)を経由してインターネットに接続します。④APサーバーは、ユーザー毎の要求に応じてアプリケーションシステムを構築するサーバーで、クラウドサーバーとHTTPS接続し、Web APIによってデバイスへの要求やレスポンスを制御します。</p>
<p>記載事項チェック欄</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 印刷時に枠内に文字が収まっているか。</p>

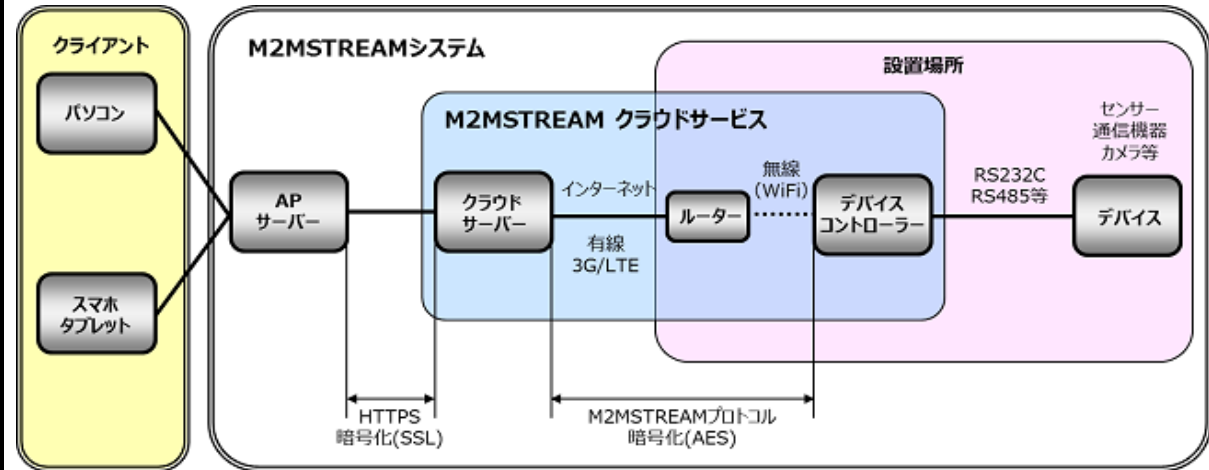
◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

(図1)クラウドサービス『M2MSTREAM』の基本機能



- ①シリアル通信の場合、Web APIでクラウドサーバーにリクエストすると、指定したデバイスコントローラーと接続したデバイスと通信することが可能です。
- ②センサーデータの収集の場合、デバイスコントローラーと接続したセンサーから送信されたデータが、コントロールパネルで指定したアプリケーション用サーバー (APサーバー) にHTTPSで送信することが可能です。
- ③電源操作の場合、電源USBポートに接続した機器の電源をON/OFFすることが可能です。

(図2)クラウドサービス『M2MSTREAM』のシステム構成



(写真)当社が開発した「デバイスコントローラー」



記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

自社製品・自社保有設備のIoT化を実現するクラウドサービス『M2MSTREAM』

ひとことPRコメント(15文字以内)

すぐ使えるIoTシステム基盤

参考Webページ(URL)

<http://www.m2mstream.com/>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	シナノリンク株式会社
住所	〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目36番2号 新宿第七葉山ビル3階
電話番号	03-6811-1133
メール	info@shinano-link.co.jp
ホームページ	http://www.shinano-link.co.jp/
担当者名	武田 開智 (たけだ かいち)